



リビング・ヘリテージの国際協力

2008年1月9日(水) 13:30～17:30

於：東京文化財研究所 セミナー室

近年、文化遺産保護国際協力の現場では、遺産保全のためには遺産を支える地域社会の持続的発展が必要不可欠だという認識が高まっており、遺産を持続的に保全できるような地域社会の仕組み作りや、遺産に関連する有形・無形の様々な地域文化の保全・活用など、その地に生きる地域社会を視野に入れた文化遺産国際協力が求められるようになっていきます。とりわけ、遺産そのものが現在も地域社会の生活の場となっているようなりビング・ヘリテージでは、このような視点での総合的な国際協力が欠かせません。

日本の行っている文化遺産国際協力では、このようなリビング・ヘリテージへの国際協力事例は少なく、しかも小規模なものにとどまっています。しかしながら、文化遺産国際協力を取り巻く近年の状況を考えると、リビング・ヘリテージへの国際協力は、今後重要な協力分野の一つになると考えられます。

そこで、本研究会では、日本のリビング・ヘリテージ国際協力の現状とあり方について、まず諸外国ではどのような文化遺産国際協力が行われているのか、また日本の国際協力ではどのような事例や案件があるのか、そして、今後国際協力事業として実現していくためにはどのような課題があるか、という点に着目しながら参加者全員で検討を進めていきたいと考えています。

参加をご希望される方は、以下の必要事項をご記入の上、[2007年12月21日\(金\)](#)までに、コンソーシアム事務局までお申し込みください。

- お名前
- ご所属
- 連絡先 (メールアドレス/電話等)
- 懇親会の出欠 (出席される方は、当日受付時に会費 1500 円をお預かりします)

申込先：文化遺産国際協力コンソーシアム事務局

mailto: consortium@tobunken.go.jp

Tel: 03-3823-4841 Fax: 03-3823-4027

〒110-8713 台東区上野公園 13-43

URL: <http://www.jcic-heritage.jp/>

リビング・ヘリテージの国際協力



JCIC-Heritage

2008年1月9日(水) 13:30～17:30

於：東京文化財研究所 セミナー室

プログラム

- 13:30 - 13:45 **あいさつ**
清水真一 (文化遺産国際協力コンソーシアム事務局)
- 13:45 - 14:30 **基調講演 “国際協力の世界的動向、日本に求められているもの(仮)”**
リチャード・エンゲルハルト
(UNESCO バンコク事務所 アジア太平洋地域文化担当アドバイザー)
- 14:30 - 15:10 **事例報告 “ベトナム・古い町ホイアンと古い村ドンラム”**
－ 文化遺産国際協力への学際的取り組み －
友田博通 (昭和女子大学国際文化研究所教授)、菊池誠一 (同歴史文化学科教授)、マーク・チャン (同国際文化研究所講師)、高尾哲也 (同生活科学科教授)、谷井淑子 (同生活環境学科教授)
- 15:10 - 15:50 **事例報告 “東南アジアのリビング・ヘリテージと
これからの国際協力のあり方”**
三浦恵子 (早稲田大学文学学術院非常勤講師)
- 15:50 - 16:30 **休憩 (ポスター発表：リビング・ヘリテージに関する研究・協力事例)**
・各ポスター発表者による説明 各5分程度
・建築学会 各小委員会集計による町並み研究一覧掲示
- 16:30 - 17:30 **パネル・ディスカッション**
“リビング・ヘリテージの国際協力を推進するために”
パネリスト：リチャード・エンゲルハルト、友田博通、三浦恵子、福川裕一 (千葉大学工学部教授)、三宅理一 (慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授)
モデレーター：稲葉信子 (東京文化財研究所文化遺産国際協力センター国際企画情報研究室長)
- 17:30 - 19:00 **懇親会**